

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	保健福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
平成19年度部名	福祉部	課名	相模湖福祉課	課長名	井上 明
事務事業名	相模湖老人福祉センター維持管理運営事業				
予算上の事務事業名	相模湖老人福祉センター				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11220		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	該当なし				
基本施策名	第2節 いきいきとした高齢社会の創造				
施策名	第2施策 高齢者の社会参加と生きがいづくり				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市立老人福祉センター条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	施設運営	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)
高齢者に対し、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための施設として設置					おおむね60歳以上の者及び老人クラブ会員、また、老人福祉増進目的で市長が認めた者
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
平成18年度施設利用状況 主に趣味の教室・生きがい大学での施設利用。 延べ利用者数 3,595名					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	津久井老人福祉センター				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	3,326	3,975	3,975
一般財源	0	0	3,326	3,975	3,975
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	1,607	1,607	1,607
事業コスト合計	0	0	4,933	5,582	5,582
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	相模湖老人福祉センター維持管理運営事業			対象名称 と単位	利用者(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	3,326	3,975	3,975
対象数	0	0	3,595	3,500	3,500
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	925	1,136	1,136
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.23	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	利用者数の対前年比	指標式と指標の説明		本年度利用者数/前年度利用者数×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	67.2		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	67.2		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用者数の対前年比	指標式と指標の説明		本年度利用者数/前年度利用者数×100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	67.2		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	67.2		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		老人福祉センター関連事業（生きがい大学・趣味の教室）を一括して考えたい。（老人福祉センターの利用者数の減の要因は、地域作業所が平成17年10月まで施設利用していたため）	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
・改修に合わせ、地域の要望を十分考慮していく。 ・大規模改修に際しては、「老人福祉センター」の名称にこだわることなく、多目的に使用できる施設が望ましい。			内郷診療所との合築で大規模改修が予定されている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		成果を検証し、効果的な事業実施の方法を検討する。（施設のあり方を検討する）	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			